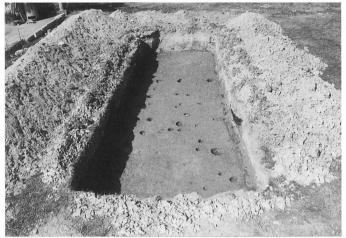


21次調査トレンチ全景(西から)



3 21次調査トレンチ全景(南から)



5 26次調査トレンチ全景 (東から)



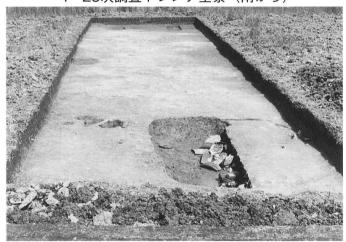
7 28次調査トレンチ全景(南西から)



2 21次調査トレンチ全景(西から)



25次調査トレンチ全景(南から)



6 27次調査トレンチ全景(西から)



8 29次調査西トレンチ全景(北から)



1 29次調査東トレンチ全景(東から)



2 29次調査中央トレンチ全景(南から)



3 30次調査トレンチ全景(東から)



31次調査トレンチ全景(南から)



5 32次調査トレンチ全景(北から)



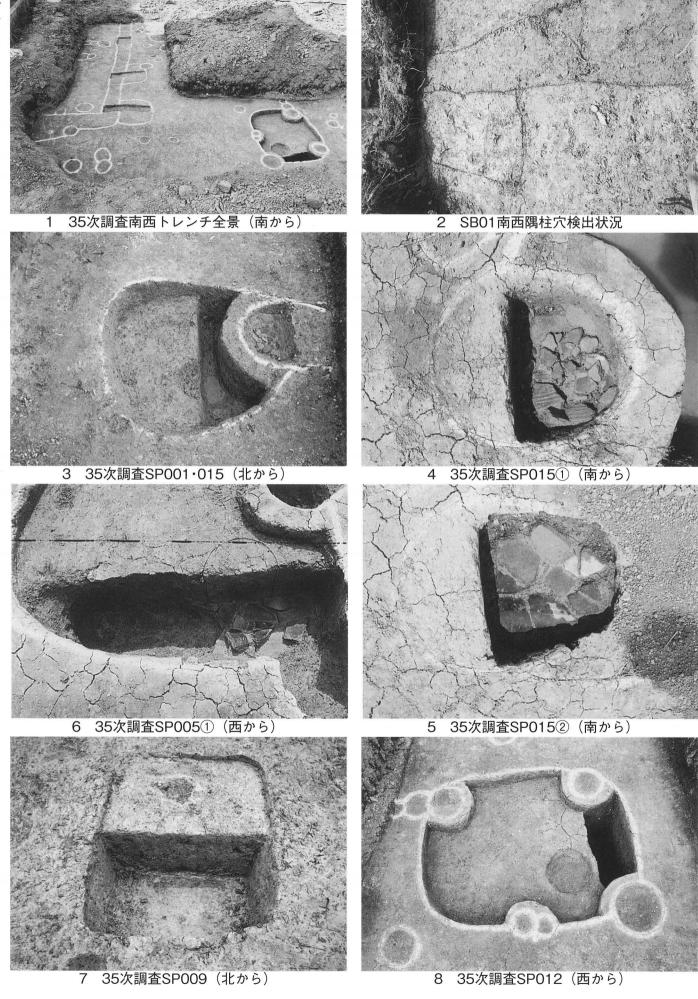
6 33次調査トレンチ全景(東から)

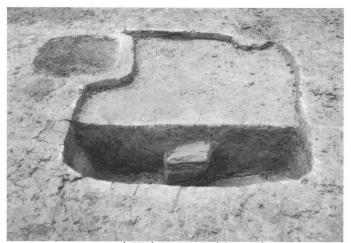


7 34次調査トレンチ全景(東から)



8 35次調査トレンチ全景(東から)





1 35次調査SP013 (南から)



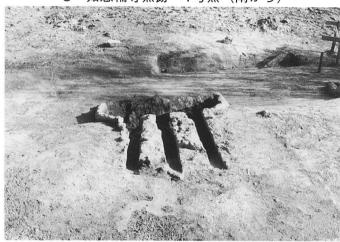
2 35次調査ピット群 (東から)



7 国分中西遺跡トレンチ全景(南から)



3 如意輪寺窯跡 1号窯(南から)



4 如意輪寺窯跡 1号窯(北から)



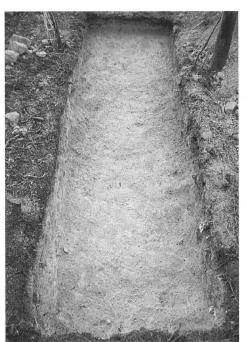
5 如意輪寺窯跡 2号窯(南から)



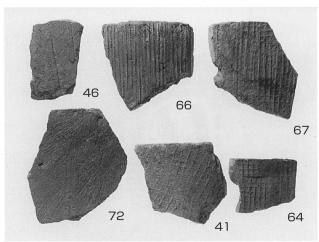
6 如意輪寺窯跡 2号窯(北から)



国分中西遺跡北側土層(南から)



兎子山遺跡Aトレンチ全景(南から)



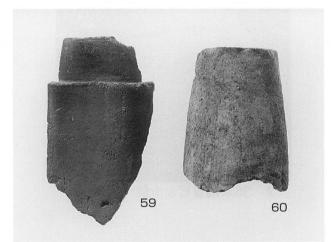
7 19次調査出土平瓦の叩き目



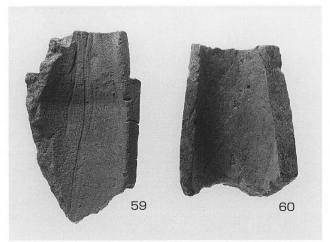
国分中西遺跡出土の五輪塔



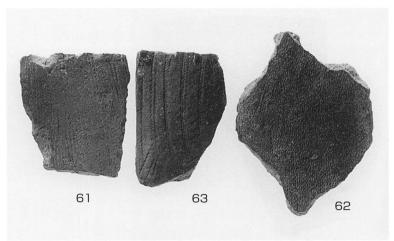
兎子山遺跡Bトレンチ全景(南から)



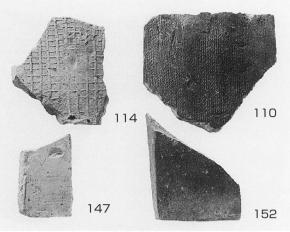
5 19次調査出土丸瓦(凸面)



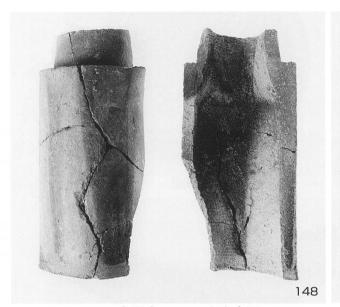
19次調査出土丸瓦(凹面)



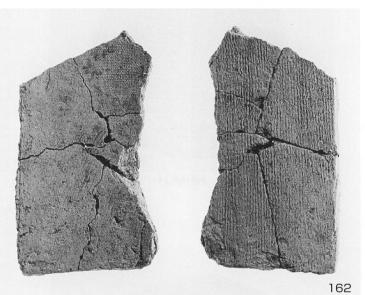
1 19次調査出土平瓦の叩き目



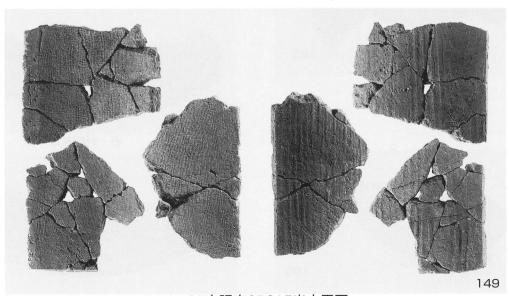
2 19次・35次調査出土平瓦の叩き目



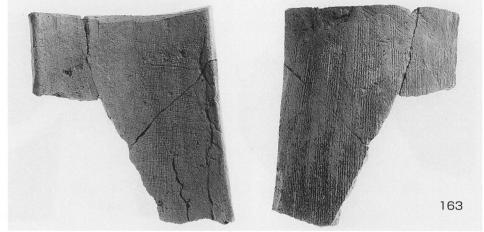
3 35次調査SP015出土丸瓦



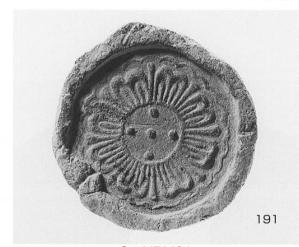
5 35次調査SP005出土平瓦



4 35次調査SP015出土平瓦



1 35次調查SP005出土平瓦



2 NRM01



3 NRM02



4 NRM02



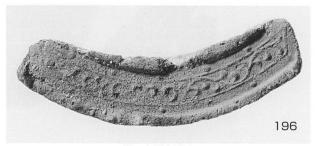
5 NRH01



6 NRH01



8



7 NRH01

報告書抄録

ふりがな	とくべつしせきさぬきこくぶんじあと にょいりんじようせき こくぶなかにしいせき うさんこやまいせき							
書名	特別史跡讃岐国分寺跡 如意輪寺窯跡 国分中西遺跡 兔子山遺跡							
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第102集							
編集者名	渡邊 誠							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL 087(839)2636							
発行年月日	2007年3月30日							
ふりがな	ふりがな	コー	コード		東経	調査期間	調査	調査
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				面積	原因
特別史跡	たかまっし 高松市 こくぶんじちょうこくぶ 国分寺町国分	37201		34° 18′ 10″ (世界測地 系)	133° 56′ 41″	1988~2005	902m²	史跡地内 の現状 変更
にょいりんじょうせき 如意輪寺窯跡	たかまつし 高松市 こくぶんじちょうこくぶ 国分寺町国分	37201		34° 18′ 28″	133° 57′ 11″	1999.3~4	60m²	如意輪寺 公園整備 事業
こくぶなかにしいせき 国分中西遺跡	たかまつし 高松市 こくぶんじちょうこくぶ 国分寺町国分	37201		34° 18′ 15″	133° 57′ 1″	2005.1.11	12m²	道路工事
うぎんこやまいせき 兎子山遺跡	たかまつし 高松市 こくぶんじちょうにんみょう 国分寺町新名	37201		34° 16′ 48″	133° 57′ 27″	2005. 12. 5~6	7m²	アンテナ 基地工事
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
讃岐国分寺跡	寺跡	古代~近世	掘立柱建物跡・柱穴		瓦, 塼, 須恵器, 土師器, 陶磁器, 土製品			
如意輪寺窯跡	窯跡	古代末	窯跡		瓦, 黒色土器			
国分中西遺跡	塚跡?	古代~近世	溝		瓦, 陶磁器, 土師器			
兎子山遺跡	散布地	旧石器?			サヌカイト剥片			
要約	本書で報告した遺跡は、高松市国分寺町に所在し、旧国分寺町教育委員会によって発掘されたものである。 讃岐国分寺跡での発掘調査は、寺域西側の史跡地内でこれまでに実施された確認調査成果である。その中でも35次調査において、古代讃岐国分寺に関連する掘立柱建物跡が築地塀の外で確認でき、国分寺関連施設が周辺に展開していることが明らかとなった。如意輪寺窯跡では、平安時代末期に比定される半地下式有牀平窯を2基確認した。国分中西遺跡では、道路改良工事中に五輪塔が出土したため、中世の塚の存在が想定されたが、土層の状況から木根痕跡に出土地周辺に存在した塚の構成土が堆積したこと明らかとなり、当該地が塚ではないことが明らかとなった。 兎子山遺跡では、サヌカイトの剥片が採集されたが、遺構は確認できなかった。							

特別史跡讃岐国分寺跡 -第16~21·25~35次調查— 如意輪寺窯跡 国分中西遺跡 兎子山遺跡

編集・発行 高松市教育委員会

高松市番町一丁目8番15号

発 行 日 平成19年3月30日 印 刷 若葉プリント